新治西部地区

新治西部地区別計画推進策定委員会

地域

新治町、十日市場町、長津田みなみ台 6・7 丁目の一部 (+日市場団地地区を除く)

緑区の西北に位置し、地区の北側は恩田川を境に青葉区に隣接しており、新治町、十日市場町(十日市場団地地区を除く)、長津田みなみ台6丁目の一部(十日市場町自治会)、長津田みなみ台7丁目の一部(後谷地区)で連合自治会を形成しています。

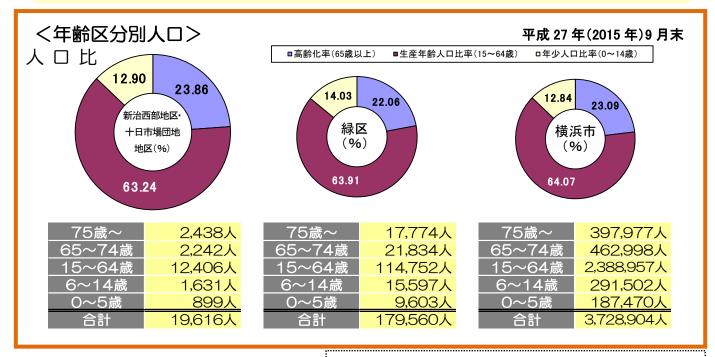
十日市場駅南側を中心に、公共施設、商業施設、医療機関やマンションなどの集合住宅を中心とした住宅が密集している一方、横浜線北側や新治町には農地や新治市民の森などの緑地も多く残されています。

<主な関連施設>

最寄駅:十日市場駅(JR横浜線)

震災時避難場所(地域防災拠点):新治小学校、十日市場小学校

地域ケアプラザ等:横浜市十日市場地域ケアプラザ



地区別計画推進策定委員会の開催

注)上記の人口データには、新治町、十日市場町及び長津田みなみ台 7丁目のデータを集計しています。

第1回 平成27年6月19日 13:30~15:30 十日市場自治会館 ・地域の課題と取組について ・3期計画について意見交換

第2回

平成28年2月4日

13:30~15:00

十日市場自治会館

- ・第2期計画5か年の振り返り
- ・第3期計画の確定
- ・第3期計画の推進に向けて

通信No.9発行 | _____

通信№10 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛ブラン」平成27年度地区別計画推進状況



新治西部地区



地域での「つながり」を深め 顔の見える元気な街を目指して!

新治西部地区では、2つの目標の実現を目指し、様々な活動を行っています。

①みんなの顔の見える環境づくり

新治西部地区では、~子どもたちが地域で楽しい体験をし、そこから「顔の見える 関係づくり」につなげたい~と、子ども会、地区社協、青少年指導員、スポーツ推進 委員などが連携し、趣向を凝らしたイベントを、毎年、実施しています。

クイズウォーク





地区別対抗運動会





(写真: 各イベントの様子)

②地域情報を届けるために!

新治西部地区では、それぞれの自治会が工夫しながら、 地域情報の提供に取り組んでいます。「十日市場町自治会」 では、平成27年4月にホームページを開設し、行事の予 定や地域住民の関心が高い「防犯・防災」情報、各部会や 子ども会の情報などをタイムリーに発信することができる (写真:十日市場町自治会ホームページ) ようになりました。



これからも自治会エリアや年代を超えた交流を通じて みんなの顔が見える、元気な街になるような取

新治西部地区別計画推進策定委員会



新治西部地区別計画推進策定委員会 平成 27年 9月発行 No.9

新治西部地区別計画推進策定委員会通信

地区別計画(H28~32)の策定検討に取り組んでいます!

平成27年6月19日(金)に、十日市場自治会館にお いて、「第1回 みどりのわ・ささえ愛プラン新治西部地区 別計画推進策定委員会」を開催しました。

今回は、第3期計画に向けた課題確認と今後の取組等に ついて意見交換を行いました。

この通信では、その内容の一部をご紹介します!



委員会の様子▲

みどりのわ・ささえ愛プランとは?



わたしたち一人ひとりが、自分らしく、心豊かに充実した生活を送ることができ るように福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプ ラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健 計画』です。新治西部地区では、2つの目標を定め、第2期にあたる平成23年(~ 平成27年度)から「新治西部地区別計画」を策定し、推進に取り組んでいます。 現在、平成28年度からスタートする第3期計画の素案の検討を進めていると ころです。

第3期計画 新治西部地区 地区別計画素案の概要

目標1

地域の中での孤立化をなくしみんなの顔が見える環境を目指します

目標とする姿

高齢者や子育て世代が孤立せず、地域で生活しています。また、幅広い世代がさ まざまな形で地域活動に参加することで、地域で顔の見える関係が育まれ、地域の つながりが深まっています。

- (具体的な取組例) 地域全体で一人暮らし高齢者や子どもたちの見守りを進めます。
 - これまで地域との関わりが薄かった方にも地域活動に参加して もらえるよう地域活動の情報発信や声掛けなどに取り組みます。



自治会加入を促進し、地域情報をより多くの人に届けます

目標とする姿

自治会への加入率が上がり、より多くの皆さんに地域情報が伝わることで、地域 の行事や地域活動に参加する人も増えています。また、それをきっかけにして若い 担い手も徐々に育っています。

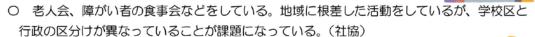
(具体的な取組例) ● 自治会の広報紙やホームページを活用し、地域活動の状況や 行事の情報などを広くお知らせします。

裏面へつづく

委員会では、第3期計画の策定に向けて、今回は目標1「地域の中での孤立化をなく しみんなの顔が見える環境を目指します」を主なテーマに、地域での孤立化をなくすた めの地域の見守りの活動や課題について、話し合いを行いました。

「第1回 みどりのわ・ささえ愛プラン新治西部地区別計画推進策定委員会」での主な意見など

- 自治会の加入率を上げたい。加入率が上がることで解決できることがあるのではないか。(自治会)
- 地域には、いろいろな団体があるのに、それぞれがつながっていない。 連携がないと問題解決にすき間ができているので、もっと連動してい く必要がある。連動することで見守りの輪が広がると思う。(自治会)



- 民生委員、社協が兼務しているので、自治会と動くことが多い。毎週木曜日に行っている防犯パトロールに参加した。知らない人からも挨拶があり、嬉しかった。日常の中で挨拶できる関係があるとよい。(社協)
- 青色防犯パトロールで月に2回循環して振り込め詐欺等への注意を呼び掛けている。 婦人防犯は、月一回、駅で活動している。(自治会防犯部)
- O たくさんの団体に協力いただき、夏のボランティア活動をしている。今年は学校行事と地区 の行事がつながるように、街で頼りにされる中学生になろうという話をしている。(中学校)
- 地域の方にご指導いただき、川の清掃に全校で取り組んでいるほか、地域の 保護者を中心に登下校の見守りをお願いするなど、地域の方に助けられて活動 している。(小学校)
- 夜間、地域の方から、離れて暮らす子供さんから父親に連絡取れないとの 電話があり、自宅に行ったら新聞がたまっていた。結果的には不在であったが、警察に何かあった際に勝手に入れないが、そういう時にはどうしたらいいか相談した。(地区社協)
- 研修会に参加し、「地域福祉」についての講演で、「助け上手に、助けられ上手」というこが大切との話があった。(民生委員)
- 認知症らしい人が立っていたことがあったが、どのように対応したらいいだろうか。(老人会)



第3期計画では、**地域の中での孤立をなくし、みんなの顔が見える環境をさらに進める**ため、**地域全体で取り組んでいきたい**と思います。

また、新治西部地区では、**地域の皆さんが顔の見える関係になり、地域の情報をより多くお伝えする**ため、**自治会への加入促進や地域活動に参加を進める取組**を行っています。 ご協力をよろしくお願いいたします。



自治会などが主催する地域の行事・イベントへの皆さんのご参加をお待ちしています!!

連絡先 新治西部地区別計画推進策定委員会事務局 緑区区政推進課(TEL)930-2218



新治西部地区別計画推進策定委員会 平成 28 年 3月発行 No.10

新治西部地区別計画推進策定委員会通信

新治西部地区・地区別計画がまとま

第3期計画 新治西部地区 地区別計画

目標1

地域の中での孤立化をなくしみんなの顔が見える環境を目指します

(目標とする姿)

高齢者や子育て世代が孤立せず、地域で生活しています。また、幅広い世代がさ まざまな形で地域活動に参加することで、地域で顔の見える関係が育まれ、地域の つながりが深まっています。

(具体的な取組例)

● 地域全体で一人暮らし高齢者や子どもたちの見守りを進めます。● これまで地域との関わりが薄かった方にも地域活動に参加してもらえるよう地域活動の情報発信や声掛けなどに取り組みます。



自治会加入を促進し、地域情報をより多くの人に届けます

目標とする姿

自治会への加入率が上がり、より多くの皆さんに地域情報が伝わることで、地域 の行事や地域活動に参加する人も増えています。また、それをきっかけにして若い 担い手も徐々に育っています

(具体的な取鍋例) ● 自治会の広報紙やホームページを活用し、地域活動の状況や 行事の情報などを広くお知らせします。

平成28年2月4日(木)に、十日市場自治会館において、平成27年度第2回 みどりのわ・ささえ愛プラン新治西 「平成 部地区別計画推進策定委員会」を開催しました

今回は、第2期計画の振り返りと、第3期計画に向け、「次世代を担うこどもの見守り」ついて意見交換を行いました。 この通信では、その内容の一部をご紹介します!



今回の委員会では、第3期計画に向けて、次世代を担うこどもや若者等について意見交 換を行いました。小中学校の児童や生徒の見守りや、地域活動への参加が学校と地域の 方々が連携して行っていることがわかりました。

<「見守り」に関する主な取組と意見>

- 新治町では「にいはる見守り隊」が組織され、白とオレンジの帽子を目印に自宅前で通学す る子ども達を見守っている。基本的には誰でも参加できる。(自治会)
 - → PTAの協力や卒業した子も挨拶してくれるので、嬉しく思う。(地区社協)
 - → 子どもたちをみんなで育てている。温かい地域だと感じている。(新治小)
- 十日市場小エリアでも保護者による「見守り隊」があり、できる時にやってもらっている。 「顔が見える関係」づくりに向けて、もっと広げていきたいが、難しい部分もある。「こども 110番の家」もたくさんあるが、把握しきれていない点が課題と思っている。(十日市場小)
- 中学生の見守り活動はないが、いろいろな形で見てもらっている。お祭り等のボランティア にイキイキとした顔で参加している。職業体験などでも、地域にお世話になっている。昨年、 3年生の女子 2 名が、認知症のお年寄りに声をかけ、保護につながったことがあった。地域 の人に「見守ってもらった」「お世話になった」ことを気持ちで表現できるようになってくる 時期でもあり、見守る力もあるので、地域の力になるようにと話をしている。(十日市場中)

裏面へつづく

第84回社会福祉大会 (第2部) 活動報告

会場:みどりアートパーク

平成28年3月2日(水)、「第34回緑区社会福祉大会」が緑区 民文化センター(みどりアートパーク)で開催されました。

この大会の第2部では、「身近な地域でつながり・ささえあいを育む ために」と題し、みどりのわ・ささえ愛ブラン地区別計画

の活動報告が行われ、田中委員長(連合自治会会長)、

松浦委員(連合事務局長・地区民生委員児童委員協議会会長)の2名が新治西部地区の取組を発表しました!

この通信では、発表内容の一部をご紹介します!



<発表の様子>



新治西部地区では、「地域の中での孤立化をなくし、みんなの顔の見える環境を目指す」「地域情報をより多くの人に届けるため自治会加入を促進する」の2つを目標に、取組が進められてきました。

「みんなの顔の見える環境を目指す」ために、地域と学校・児童の交流 や、連合自治会の3大行事(ウォークラリー、地区別対抗運動会、お楽し み会)の開催を通して、住民同士の顔の見える関係づくりを進めています。 また、連合自治会だけではなく、単位自治会における行事も盛んに行われ ています。夏祭りでの共通チケットの導入など、単位自治会同士で連携す ることで、自治会行事に参加しやすくしています。

さらに、「自治会加入を促進する」ために、自治会のホームページを作成し、地域における情報を集約する仕組みをつくり、タイムリーに届けることで、自治会活動を伝えている自治会もあります。

今後も、既存の活動を継続し、**地域での「つながり」を深めるとともに、** みんなの顔が見える「元気な街」を目指していきます。

<発表スライドから>

報告した第2期期計画の主な取組(キーワードは「つながり」と「情報」) <発表スライドから>















防災用玄米の備蓄

自治会などが主催する地域のイベントへ皆さんのご参加をお待ちしています!!

連絡先 新治西部地区別計画推進策定委員会事務局 緑区区政推進課(TEL)930-2218